

# 令和6年度事務事業評価シート（令和5年度実施事業）

経営企画部

番号	事務事業名	担当部署	目的	事業概要	令和5年度			令和6年度		
					事業成果	事業の評価	具体的な内容	事業の方向性	事業の展開方針	
1	総合計画推進事業	政策推進課	総合計画の推進により、将来都市像の実現に向けたまちづくりが推進される。	総合計画に掲げる将来都市像の実現、基本目標の達成を目指し、計画的な行政運営を推進するため、後期基本計画を推進する。また、施策推進に寄与する事業の進行管理を行う。	後期基本計画に位置付けた施策・事業について、それらの適正な進行管理を行うことで、計画の実効性の確保に資することができました。また、新たな総合計画の策定にあたっては、多様な市民参加手続を行い、多くの市民が計画策定に関わり、市民とともに創る計画となるよう創意工夫を行いました。	妥当性	A	総合計画の着実な推進と計画に位置付けた施策・事業の実効性を確保するため、計画期間を通じた取組が必要です。	現行どおり	新たな総合計画基本計画の実効性を確保し、計画事業を積極的に推進するため、適正な進行管理の手法を検討します。また、新たな総合計画について、広く市民と共有するため、計画の内容や取組について、市政だより等を通じた周知を行います。
					有効性	A	本事業の継続的な取組により、基本計画の施策目標の達成に大きく寄与するものです。			
					効率性	A	庁内推進組織及び関係各課と十分な調整を行いながら、最適な実施手法等を選択し実行するほか、必要に応じて見直しを行います。			
2	広域行政事務推進事業	政策推進課	市民が、周辺自治体と同水準の行政サービスを利用することができる。	関係自治体における事務の共同処理や自治体間の連携及び協議を行う。	広域的な地域課題等を関係自治体との連携により、効果的に処理することができました。	妥当性	A	本事業は、広域的な観点から取り組むことが効率的かつ効果的と認められる行政事務を自治体間の協力・連携により共同で処理するものです。	現行どおり	本事業は、広域的な観点から取り組むことが適当と認められる行政事務を共同にて処理するものであり、各自治体による単独実施と比べ、様々なメリットが期待できることから、適切に事業を執行します。
					有効性	A	本事業を適切に執行することで、事業目的に対する成果は十分に得られており、行政サービスの向上に寄与しています。			
					効率性	A	本事業に係る実施手法等については、その効率性を含め、組合議会等において十分な審議がなされています。			
3	印旛広域水道用水供給事業	政策推進課	市民が、安定的な水道用水の供給を受けることができる。	印旛郡市広域市町村圏事務組合の実施する印旛広域水道用水供給事業に参画し、水源開発及び広域化対策に要する経費に対し、出資金及び負担金を支出する。	水道用水供給事業に参画することにより、今後の長期安定的な水源の確保に寄与することができました。	妥当性	A	本事業は、その性質上、安定的かつ恒久的な行政サービスの提供が求められます。	現行どおり	本事業は、水道用水の安定供給に必要な水源の確保を目的としていることから、適切に事業を執行します。
					有効性	A	本事業を適切に執行することで、事業目的に対する成果は十分に得られており、目的の達成に大きく寄与しています。			
					効率性	A	本事業に係る実施手法等については、その効率性を含め、組合議会等において十分な審議がなされています。			

# 令和6年度事務事業評価シート（令和5年度実施事業）

経営企画部

番号	事務事業名	担当部署	目的	事業概要	令和5年度			令和6年度		
					事業成果	事業の評価		事業の方向性	事業の展開方針	
						具体的内容				
4	重要施策調整事業	政策推進課	重要施策が解決されることで市民が安心して暮らせるまちになる。	千葉市を中心とした自治体間の連携により、定住促進や経済の活性化の他、女性の社会進出を一段と促進するための連携事業を推進する。	千葉市を中心とした自治体間の連携事業について、協議・検討を行いました。	妥当性	A	千葉市を中心とした周辺自治体を一つの圏域として活性化するためには、本市の積極的な関与が必要です。	現行どおり	子育て及び産業分野において、千葉市を中心とした自治体間の連携による各種事業を推進するとともに、他の分野における連携事業を協議・検討します。
						有効性	A	千葉市を中心とした自治体間の連携による各種事業を進めることで、市域に関わらず子ども・子育て支援環境の充実、定住促進や経済の活性化等を行うことができます。		
						効率性	A	千葉市を中心とした自治体間の連携による各種事業を進めることで、効率的に事業を推進することができます。		
5	まち・ひと・しごと創生推進事業	政策推進課	まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進により、本市の活力ある社会が維持される。	まち・ひと・しごと創生総合戦略における目指すべき将来の方向に向けて、各種施策の推進と総合戦略の進行管理を行う。	本市のまち・ひと・しごと創生総合戦略に位置付けた事業を推進するとともに、婚姻を機に本市で新生活を始める新婚世帯に対し、補助金を交付したことにより、婚姻に伴う経済的負担を軽減することができました。	妥当性	A	まち・ひと・しごと創生法の規定により地方公共団体において総合戦略を策定する必要があるとともに、総合戦略に定める各種取組を効果的に推進するため、市による取組が必要です。	現行どおり	まち・ひと・しごと創生総合戦略の継続的な推進と効果的な進行管理を行うとともに、新たなまち・ひと・しごと創生総合戦略の策定を進めます。また、結婚を希望する若い世代に出会いの場を提供するとともに、結婚を機に本市で新生活を始める若い世代を支援します。さらに、県外で未来に向けてがんばる学生に、市の特産品等を詰め合わせたふるさとのお届けし、ふるさと四街道への愛着を育みます。
						有効性	A	本事業の継続的な取組により、総合戦略に定める各基本目標の達成に大きく寄与するものであり、本市の活力ある社会が維持されます。		
						効率性	A	庁内推進組織による総合戦略の推進と関係機関からの意見徴取により、効果的に施策が展開されます。		
6	イベント事業	政策推進課	公開番組、各種イベント等の開催により、まちが活性化される。メディアや参加者を通じて、市の認知度を向上させる。	テレビ・ラジオの公開番組等、市の魅力をPRできるイベントの共催・後援を行う。	印旛地域の市町村と連携して各施設を巡るスタンプラリーを共催しました。	妥当性	A	シティセールスの一環として、知名度を向上させるために必要な事業です。	完了	令和6年度から、「親子深まる絆事業」へ事業名を変更し、子どもも大人も参加できる体験型イベントなど、まちのにぎわいを生むさまざまなイベントを開催します。
						有効性	A	他の自治体等とイベントを開催し本市をPRすることで、認知度を向上させています。		
						効率性	A	印旛地域の市町村と連携することで、少ない予算で本市をPRし、認知度が向上することが期待できます。		

# 令和6年度事務事業評価シート（令和5年度実施事業）

経営企画部

番号	事務事業名	担当部署	目的	事業概要	令和5年度			令和6年度		
					事業成果	事業の評価	具体的な内容	事業の方向性	事業の展開方針	
7	シティセールス推進事業	政策推進課	本市が持つさまざまな魅力を積極的に市内外に発信することにより、本市の認知度を向上させるとともに、イメージをアップさせる。	様々なメディアや手法を活用することにより市のPRを積極的に行う。	積極的なプレスリリースを行いました。PRパンフレットを新たに制作し、市外の商業施設や宿泊施設、京葉道路の幕張パーキングエリア等にPRパンフレットの配架を行いました。また、東関東自動車道にかかる陸橋に市のPR横断幕を設置しました。四街道市PR大使として新たに2人委嘱し、合計8人の大使と連携し、市の情報を発信することができました。	妥当性	A	今後人口が減少していく中で、選ばれるまちとなり、四街道に居住してもらうために、市の認知度の向上やイメージアップを目指す本事業は今後も実施していく必要があります。	現行どおり	PRパンフレットを市内外の店舗や商業施設に配架するとともに、積極的にプレスリリースを行います。8人の四街道市PR大使と連携し情報を発信します。各種イベントやプロモーションにPR用ロゴマークを活用します。（令和6年度から、「シティプロモーション推進事業」へ事業名を変更します。）
					有効性	A	プレスリリースを積極的に行うことで、さらなる市の認知度向上とイメージアップに寄与しています。			
					効率性	A	ターゲットエリアの方が多く利用する、高速道路等にパンフレット配架や横断幕を掲出することで、効率的に市の魅力を発信することができました。四街道市PR大使と連携し、各種メディアを通じて効率的に情報を発信しています。			
8	広報事業	政策推進課	市政に関する必要な事項を市民に周知し、その理解を深めるため、市政だより四街道を発行、及び市ホームページ等の運用管理を行う。	市政だより等の発行と配布及びホームページやSNSの運用管理を通じた広報活動を行う。	広報紙「市政だより四街道」を月2回発行し、全世帯に配布するとともにホームページやSNSの運用管理を適正に行うことで、市民に必要な情報の提供を行いました。	妥当性	A	市政に関する必要な事項を市民に周知させ、その理解を深めるために必要な事業です。	現行どおり	市民が必要としている情報を的確に把握し、必要な情報を効果的に発信することを目指します。
					有効性	A	市政に関する情報を、月2回の市政だよりの発行、及び市ホームページ等の運用により、効果的に市民に対し伝えています。			
					効率性	A	市政だよりの年間掲載計画、毎号の編集において記事を精査し、掲載しています。また、記事の詳細については、市ホームページへの閲覧を誘導し効率化しています。			
9	秘書事業	秘書課	市長・副市長の秘書業務を適正に執行し、市政運営に関係する団体及び個人と良好な関係を保つことにより、円滑な市政運営が行われている。	市長及び副市長の日程調整、来客対応などの秘書業務全般を行うほか、市長交際費の支出管理、支出状況の公表及び市長の資産公開を行いました。これにより市政運営に関する団体及び個人と良好な関係を保つことにより円滑な市政運営ができました。	市長及び副市長の日程調整を行うほか、市長交際費の支出管理、支出状況の公表及び市長の資産公開を行いました。これにより市政運営に関する団体及び個人と良好な関係を保つことにより円滑な市政運営ができました。	妥当性	A	秘書事業は市長・副市長が円滑に市政運営を進めるためには必要不可欠な事業です。	現行どおり	市長及び副市長のスケジュール管理、及び調整業務、市長交際費管理事務、来客窓口対応業務、送迎随行業務等々、秘書業務全般について、引き続き実施します。
					有効性	A	適切なスケジュール管理と市長交際費の支出を行っています。市長については公務多忙を極めることから体調管理にも十分配慮しています。			
					効率性	A	秘書事業は市長・副市長の日程調整事務、市長交際費管理事務、来客窓口対応及び送迎随行業務など多岐にわたるものですが、最小限の人員で効率的に対応しています。			

# 令和6年度事務事業評価シート（令和5年度実施事業）

経営企画部

番号	事務事業名	担当部署	目的	事業概要	令和5年度			令和6年度		
					事業成果	事業の評価		事業の方向性	事業の展開方針	
						具体的内容				
10	表彰事業	秘書課	市政の発展及び福祉の増進に寄与、または市民の模範となる行為をした人が顕彰され、これが周知されることで、市政への理解・協力が得られている。	市政の発展及び福祉の増進に寄与した方、または市民の模範となる行為をした方を表彰するとともに、市政だより等を通じて広報を行う。	市政の発展及び福祉の増進に寄与し、又は市民の模範となる行為をした方を表彰しました。	妥当性	A	四街道市として市民や団体を顕彰する事業であり、市民の善行意識の高揚や受賞者の励みとなるため、継続して実施する必要があります。	現行どおり	市政の発展及び福祉の増進に寄与し、又は市民の模範となる行為をした個人又は団体の情報収集を行い対象者を表彰します。
						有効性	A	個人、または団体の栄誉を称え、これを市民に広くお知らせすることにより善行の啓発や継続的な市政の発展に寄与しています。		
						効率性	A	表彰対象が増えるごとにコストが増えますが、コストを意識しつつ効率的な方法で実施しています。		
11	広聴事業	秘書課	子どもから大人まで幅広い世代の市民の皆さんの意見・要望を市政に取り入れてより良いまちづくりに生かす。	子ども世代を対象に、小中学校全17校においてランチトークを実施する。また、市長への手紙制度を活用して、市民の意見・要望を聴く機会を設ける。	市長への手紙制度を通じ、幅広い世代の市民の皆さんの意見・要望を市政に反映しました。また、ランチトークはコロナ禍により中止しました。	妥当性	A	市民の意見・要望を取り入れることは、まちづくりを進めるために必要不可欠です。	現行どおり	子どもから大人まで幅広い世代の市民の皆さんの意見・要望に市長が直接触れる機会を設けることでより良い市政への反映に取組ます。
						有効性	A	幅広い世代の市民の皆さんの意見・要望を市政に取り入れ、より良いまちづくりに活用しています。		
						効率性	A	市長への手紙を受け入れる場所や方法を複数設け、より多くの意見・要望を取り入れられるようにしています。		
12	各種要望書提出事業	秘書課	国・県の施策と連携し、本市の施策が効果的に展開されている。	国、県に要望書を提出する。	国、県に対して要望活動を行いました。	妥当性	A	施策目標達成のため、継続的に要望活動を実施する必要があります。	現行どおり	国、県と連携し、本市の施策が効果的に展開されるよう、継続的に要望活動を行います。
						有効性	A	要望活動を行うことは、国、県の施策に対する本市の考えを伝えるために重要です。		
						効率性	A	人件費以外の経費を要することなく、最適な手法により実施しています。		

令和6年度事務事業評価シート（令和5年度実施事業）

経営企画部

番号	事務事業名	担当部署	目的	事業概要	令和5年度			令和6年度		
					事業成果	事業の評価	具体的な内容	事業の方向性	事業の展開方針	
13	財政管理事業	財政課	計画的かつ効率的な財源配分による予算編成と、執行計画に基づく適正かつ効果的な予算執行により、事業が円滑に進捗している。	当初予算及び補正予算の編成、予算の執行、財務会計システムの運用管理、資金計画及び執行計画の作成、地方交付税及び地方譲与税算定に伴う基礎資料の作成、予算、決算及び編成過程等の公表を行う。	適切な予算編成及び予算執行を管理し、財政の健全性を確保しました。また、統一的な基準による財務書類を作成し、市の資産、市債等に関する内容を把握できました。	妥当性	A	地方自治法に基づき、予算編成や予算執行管理を行っており、必須の事業です。	現行どおり	事業の予算化にあたっては、実施方法を精査し、適正な予算編成及び予算執行を管理します。また、統一的な基準による財務書類を作成し、市の資産、市債等に関する内容を把握します。
						有効性	A	事業の効率的・効果的推進と、持続可能な財政基盤構築を両立するために、実施手法を精査し、効果的な財源配分をした予算編成と、計画に基づく適切な予算執行管理を行っています。		
						効率性	A	予算の適正な執行を確保するための財務事務研修や、決算概要、予算編成方針に向けた説明会など、効率的に行っています。		
14	基金管理事業	財政課	財政調整基金他、各種基金の適正な管理により、長期にわたる財源の調整ができています。	財政調整基金等の残高の管理、充当事業の検討を行う。	財政調整基金などの各種基金を適切に管理しました。また、公債費が増加する場合に備え、市債管理基金への積み立てを行いました。	妥当性	A	地方自治法、地方財政法に基づき実施しています。	現行どおり	持続可能な財政運営を維持するため、一定額の基金残高を維持していきます。また、基金の統廃合や利活用等を検討していきます。
						有効性	A	財政調整基金は、地方財政法に基づき積み立てを行っています。また、その他の基金についての積み立てや、取り崩しは、基金の目的に応じ、適正に管理しています。		
						効率性	A	事業の目的に応じた基金の適正な運用を行い、効率的に基金の利活用を行っています。		
15	決算等財政統計事業	財政課	決算統計の結果が、行政目的の達成度、財政の健全性を測る判断材料となり、財政が健全化しているとともに、その他の各種調査結果についても国・県の施策に反映されている。	各種決算資料を作成する。地方財政状況調査（決算統計）及び財政統計に係る各種調査資料を作成する。決算カードを作成する。	各種決算資料の作成、地方財政状況調査（決算統計）及び当初予算編成状況等調を作成し、財政状況を指標化することができ、市の財政運営に反映させることができました。	妥当性	A	地方自治法に基づき実施しています。	現行どおり	各種決算統計結果を指標化することで、適切な財政運営を行います。
						有効性	A	地方財政状況調査（決算統計）は、財政状況を分析する不可欠なものであり、近隣市町村や類似団体との比較をするうえでも有効な事業です。		
						効率性	A	地方財政状況調査（決算統計）は、国で定められた様式でシステム化されており、効率的に作成しています。		

# 令和6年度事務事業評価シート（令和5年度実施事業）

経営企画部

番号	事務事業名	担当部署	目的	事業概要	令和5年度			令和6年度		
					事業成果	事業の評価	具体的な内容	事業の方向性	事業の展開方針	
16	市債管理事業	財政課	市債の借り入れにより、財源が確保され、事業を適正に執行できている。また、適正な借り入れ、計画的な償還により、財政負担の平準化、世代間負担が公平化している。	市債元金・利子を償還する。起債借入協議（届出）の申請をする。市債を借り入れる。公債台帳を管理する。	各種事業の財源として借り入れた市債の元金及び利子を計画どおり適正に償還できました。	妥当性	A	各種事業の財源として、市債の借り入れは、財政負担の平準化、世代間負担が公平化することから、必要な事業です。	現行どおり	実質公債費比率などの指標を踏まえ、事業の重要性、緊急性、交付税措置の有無などを考慮し、起債対象事業を選択して借入を行います。
						有効性	A	市債の借り入れは、各種財政指標を考慮して借り入れをしており、持続可能な財政運営に有効です。		
						効率性	A	既に借り入れている市債は、予定どおり償還する必要があることから、事業の手段を変更することはありません。なお、公債台帳はシステム化しており、効率的に管理しています。		
17	外郭団体業務監督等事業	財政課	市の外郭団体の運営が健全に行われている。	四街道市地域振興財団の業務を監督する。	四街道市地域振興財団の業務を監督することで、適正な運営が行われました。	妥当性	A	地方自治法に基づき、外郭団体に対する指導監督等は、市が行うことが必須となります。	現行どおり	出資者である市による指導監督等を行います。
						有効性	A	市が補助金等を支出することなく、健全な自主運営を行っています。		
						効率性	A	理事会、評議会等へ参加することで、効率的に指導監督を行っています。		
18	行財政改革推進事業	財政課	市民の意見を反映させた、全庁的な行財政改革が行われている。	行財政改革推進計画の進行管理及び収支改善の取組などにより、効果的かつ効率的な行財政運営を推進する。	第8次行財政改革推進計画の進行管理を行うとともに、行財政改革審議会より進捗状況について意見をいただきました。また、令和6年度を初年度とする第9次行財政改革推進計画を策定しました。	妥当性	A	厳しい財政状況を改善し、限られた財源で、多様化する市民ニーズに適切に対応するため、計画的・継続的な行財政改革に取り組んでいます。	現行どおり	令和6年度を初年度とする第9次行財政改革推進計画に位置付けた改革項目を着実に実施し、適切に進行管理を行うことで、効果的かつ効率的な行財政運営を推進します。
						有効性	A	第8次行財政改革推進計画は、概ね計画どおりに取り組んでおり、適切に行財政運営が行われています。今後は、令和6年度を初年度とする第9次行財政改革推進計画に基づき、行財政改革を推進していく必要があります。		
						効率性	A	全庁的な収支改善の取組により、事務事業の見直し等を行っています。また、行財政改革推進計画の進捗状況について、審議会から意見をいただくとともに、議会へ報告をしており、適切に進行管理を行っています。		

# 令和6年度事務事業評価シート（令和5年度実施事業）

経営企画部

番号	事務事業名	担当部署	目的	事業概要	令和5年度			令和6年度		
					事業成果	事業の評価	具体的な内容	事業の方向性	事業の展開方針	
19	行政評価事業	財政課	市における業務活動の目的と目標及び効果と成果を明確にし、現状分析を行うことにより、顧客、成果主義に基づいた行政運営を実践し、行政の透明性の確保及び市民サービスの向上を実現している。	業務活動の目的と目標及び効果と成果を明確にするため事務事業評価を実施し、現状の分析を行い、業務活動が最適な手段となっているかを検証し、公表する。	令和4年度に実施した事務事業を評価し、現行どおり446事業、一部改善20事業、休止2事業、廃止2事業、完了24事業となりました。また、評価結果に対して市民意見を募集する外部評価を行いました。	妥当性	A	行政評価は、事務事業の改善等を行う取組として重要な役割を果たしています。	現行どおり	令和5年度に実施した事務事業を評価して、事務事業の検証を行います。
						有効性	A	当初予算編成時の資料として、有効に活用しています。		
						効率性	A	評価事務の負担を軽減したことで、効率性が向上しています。		
20	財産管理事業	管財課	市有財産を適正に管理することで公有財産が有効に活用される。	市有財産台帳を適正に管理する。市有地の貸付・売却業務等を行う。	市有財産の未利用地の貸付及び売却を積極的に実施し、市の財源に寄与しました。	妥当性	A	市有財産(土地)の適正管理を行い財産の保守及び活用するには必要性の高い事業です。	現行どおり	市有地(普通財産)の適正管理及び未利用地の有効活用を促進します。
						有効性	A	市の財源確保に貢献しています。		
						効率性	A	未利用地を有効活用しています。		
21	庁舎等維持管理事業	管財課	庁舎及びJR駅自由通路の適正管理と環境改善を推進することで、職員の事務効率の向上と、庁舎及びJR駅自由通路利用者の安全性・快適性が向上している。	庁舎等利用者の安全と快適性の向上及び職員の執務環境維持向上のため、庁舎の適正な維持管理等を行う。	庁舎の適正な維持管理のため、経年劣化の不具合等を回収したことにより、来庁者の安全と快適性の向上及び職員の職場環境が維持、向上しました。	妥当性	A	来庁者の安全と快適性の向上及び職場環境の維持を向上させるため必要な事業です。	現行どおり	庁舎の老朽化のため、継続的に修繕を行い、来庁者の安全確保及び庁舎の適正な維持管理を行います。令和6年度途中に新庁舎に引っ越しをします。新庁舎においても来庁者の安全確保及び庁舎の適正な維持管理を行える準備を整えます。
						有効性	A	経年劣化による庁舎内外の不具合箇所を改修することにより、来庁者の安全と快適性及び職員の職場環境の維持が向上しています。		
						効率性	A	庁舎の建て替え時期を想定しながら改修等を行い、来庁者の安全と快適性及び職員の職場環境が向上しています。		

# 令和6年度事務事業評価シート（令和5年度実施事業）

経営企画部

番号	事務事業名	担当部署	目的	事業概要	令和5年度			令和6年度		
					事業成果	事業の評価	具体的な内容	事業の方向性	事業の展開方針	
22	庁舎等整備事業	管財課	地震に対する脆弱性が解消され、防災拠点としての機能及び市民サービスの拠点としての機能が保たれていると共に、効率的な業務運営を行っている。	老朽化及び狭隘化した庁舎の改築及び耐震補強を実施する。	令和7年度中の事業完了に向け、引き続き、庁舎整備工事を実施しました。	妥当性	A	防災拠点及び安全な市民サービスの拠点としての機能を整備する必要がある事業です。	現行どおり	令和7年度中の事業完了に向け、引き続き、庁舎整備工事を実施します。
						有効性	A	老朽化及び狭隘化した庁舎の改築及び耐震補強を実施することで、来庁者の安全と快適性が向上します。		
						効率性	A	令和7年度中の事業完了に向け、庁舎整備工事に着手し、適正な財源確保及びスケジュール管理等において効率的な業務運営を行っています。		
23	車両維持管理事業	管財課	公用車の適切な管理と共用車の効率的な稼働が行われ、維持管理経費が削減されている。	公用車の共用化を行うとともに、共用車の車検整備等適切な管理を行う。	公用車を適切に管理し、効果的に稼働されました。また、職員選抜チームがセーフティードライバーズ千葉2023に参加し、規定期間中の無事故・無違反を達成しました。公用車の事故件数は6件で、前年度4件に対し、2件増加しました。	妥当性	A	公用車のコスト削減及び効率的な稼働をするには必要性の高い事業です。	現行どおり	公用車の共用化により、車両の適正管理及び効率的な稼働を行います。また、安全運転管理業務の実施により、安全運転に対する職員の意識の向上に取り組めます。
						有効性	A	公用車を共有することで車両台数及びコスト削減をするため必要性の高い事業です。また、職員の安全運転意識の向上のため、安全運転管理者業務を併せて行います。しかしながら共有することで車両の管理に対する責任が薄れてしまうことが課題です。		
						効率性	A	公用車を共有することで、車両経費や稼働率を効率的かつ容易に把握し、コスト削減に貢献しています。		
24	文化センター管理事業	管財課	市民の文化、教養の向上が増進している。	指定管理者による文化センターの管理運営を行う。	指定管理者により、利用者等の利便性の向上と効率的な施設運営が行われました。また、排煙窓修繕工事やホール棟熱源廻り冷水入口温度制御三方弁交換工事等を実施し、施設の安全の確保ならびに適正な維持管理を行いました。	妥当性	A	市民の文化振興及び教養を向上させるために必要性の高い事業です。	現行どおり	指定管理による文化センターの管理運営を行います。また、施設、設備等の改修工事等を実施し、施設の安全の確保及び適正な維持管理を行います。令和7年度からの文化センター大規模改修工事に係る設計業務委託を実施します。
						有効性	A	指定管理者の施設運営により、市民等の文化及び教養の向上、また、福祉の増進がされました。		
						効率性	A	指定管理者の施設運営により、利用者の利便性が向上するとともに、経費の節減をしています。		



令和6年度事務事業評価シート（令和5年度実施事業）

経営企画部

番号	事務事業名	担当部署	目的	事業概要	令和5年度			令和6年度		
					事業成果	事業の評価	具体的な内容	事業の方向性	事業の展開方針	
25	ファシリティマネジメント推進事業	管財課	公共施設等が、適正な配置及び保有量の下、最大限効率的に利用されている。	長期的な視点による一元的かつ戦略的な施設マネジメントにより、公共施設等の最適化を目指す。	公共施設再配置計画に位置付けた施設に対する対応方針の進捗状況を管理することにより、公共施設保有量を縮減することなどの基本方針をまとめた公共施設等総合管理計画の推進に寄与しました。	妥当性	A	公共施設等の老朽化が進み、今後、更新等で多額の財政負担が見込まれるなか、施設の適正な配置と保有量の縮減を実現し、財政負担を縮減することは市の責務です。	現行どおり	公共施設再配置計画の進捗管理を行うとともに、必要に応じ個別施設計画を見直します。
						有効性	A	各施設の機能や使われ方を検証したうえで、効率化を行っていくことは、将来の負担軽減に大きく影響します。ただし、効率化を含めた最適化のためには、施設利用者をはじめとした市民の合意形成が大きな課題となります。		
						効率性	A	公共施設等総合管理計画を的確に推進していくことにより、施設の適正な配置と保有量の縮減が期待できると共に、施設管理に必要な財政負担の縮減が期待できます。		
26	広告事業	管財課	新たな広告媒体の導入により財源が確保されている。	新たな財源の確保や歳出を抑制するため、市が管理する資産のうち、活用が見込まれるものを広告媒体とした広告掲載を行う。	事業の継続した取組を行いました。	妥当性	A	事業の継続した取組により、自主財源確保に寄与しています。	現行どおり	安定的な自主財源確保の観点から、継続した取組が必要です。新たな対象媒体の導入については、その実行性や費用対効果等を勘案しながら、検討を進めます。
						有効性	A	社会情勢や市民ニーズに対応した行政サービスを継続的に提供するため、安定的な自主財源の確保が必要であることから、本事業における取組は、健全な財政運営の推進に寄与するものです。		
						効率性	A	本事業は、人件費以外の経費を要することなく実施されており、コスト縮減の余地はありません。また、事業の性質上、一般財源での措置が必要です。		
27	市有建築物設計・工事監理事業	管財課	最新の技術基準に適合した設計図書を作成し契約を円滑にするとともに、監理においては、施工管理者に設計趣旨及び要求品質を確実に伝えることにより、良好な品質確保及び費用対効果が実現できている。	各種研修会などに参加し技術情報を収集し、最新技術基準に適合した設計図書の作成及び工事監理を実施する。	各種研修会などに参加し技術情報を収集し、最新技術基準に適合した設計図書の作成及び工事監理を実施しました。	妥当性	A	建物が老朽化してきている中で、建築物の保全業務に必要な設計・積算・監理業務は必要不可欠です。	現行どおり	市有建築物建築工事（新設、改修）等の設計段階において、仕様の再検討、工期の縮減等を行い、設計・積算及び工事監理等を実施することにより、各事業コストの縮減及び地方自治法に基づく契約を適正に履行します。
						有効性	A	設計段階において仕様の再検討等を行い、設計・積算及び工事監理をしており、事業コストの縮減及び地方自治法に基づく契約が適正に履行されています。		
						効率性	A	営繕積算システム(RIBC)を導入し低価格かつ高品質な成果を充実させています。		

# 令和6年度事務事業評価シート（令和5年度実施事業）

経営企画部

番号	事務事業名	担当部署	目的	事業概要	令和5年度			令和6年度		
					事業成果	事業の評価	具体的な内容	事業の方向性	事業の展開方針	
28	市有建築物保全調査事業	管財課	施設の概要・工事履歴・現状及び関係法令、最新技術などの調査を行い、施設管理者を適正な方針へ誘導することにより、建築物を耐用年数まで良好に維持保全できる。	法令義務である特殊建築物の定期報告業務を実施し、また、施設管理者より建築物の改修等の相談を受けた場合、調査・研究し適正な方向へ誘導する。	特殊建築物の定期報告業務を実施しました。また、施設管理者より建築物の改修等の相談を受け、調査・研究し適正な方向へ誘導しました。	妥当性	A	公共建築物の既存ストックの有効活用および適正な維持管理は必要不可欠です。	現行どおり	特殊建築物の定期報告業務を実施し、また、施設管理者より建築物の改修等の相談を受けた場合、調査・研究し適正な方向へ誘導します。
						有効性	A	施設の概要・工事履歴・現状ならびに関係法令、最新技術などの調査を行い、施設管理者を適正な方針へ誘導することにより、建築物を耐用年数まで良好に維持保全できます。		
						効率性	A	特殊建築物の定期報告業務を実施し適正な維持管理ができました。		
29	契約管理事業	契約課	各課からの契約依頼に基づいて適正な事務処理を行い、公正な入札・契約が実施されている。	各課からの契約依頼に基づいて適正な入札・契約事務処理をし、もって予算の適切な執行に資する。入札参加者の適正な審査の実施により、事業者が公平に入札に参加することができ、公正な競争の促進、不正行為の排除及び適正な施行を確保する。情報公表を推進することで、入札・契約における透明性を確保する。	各課からの契約依頼に基づき、適正に入札及び契約事務処理を行いました。	妥当性	A	地方自治法施行令に基づく事業であり、適正な発注のため継続して実施する必要があります。	現行どおり	各課からの依頼に基づき、入札・契約事務を履行します。案件要件に応じてその準備行為として審査会において入札参加資格要件の審査、随意契約の適否の審査を行います。また、入札参加資格者名簿の登録等を行います。
						有効性	A	入札の参加資格要件等の審査、指名業者選定、随意契約の適否等の審査を行うことにより、公平性・透明性を確保しています。		
						効率性	A	ちば電子調達システムによる電子入札により執行し、効率的に実施しています。		
30	建設工事完成検査事業	契約課	工事を監督し、適格業者による良好な工事目的物が完成している。	1件の契約金額が、500万円以上の工事についての完成検査及び工事成績評価を行う。	工事検査を的確に実施したことにより、建設工事請負契約の適正な履行の確保ができました。	妥当性	A	地方自治法第234条の2に基づき実施しています。	現行どおり	工事検査を的確に実施することにより、建設工事請負契約の適正な履行を確保します。
						有効性	A	工事検査を適正に実施することにより、建設工事請負契約の適正な履行が確保できます。		
						効率性	A	人件費以外の経費を要することがなく、最適な方法により実施しています。		

# 令和6年度事務事業評価シート（令和5年度実施事業）

経営企画部

番号	事務事業名	担当部署	目的	事業概要	令和5年度			令和6年度		
					事業成果	事業の評価	具体的な内容	事業の方向性	事業の展開方針	
31	新技術・設計積算情報事業	契約課	適正かつ能率的な設計積算により良好な工事が行われる。	土木積算システムのデータ更新等を行う。設計積算関連通知文書や情報などを関係各課へ周知する。工事に関する技術の指導及び研修、研修関連通知文書や情報など関係各課へ周知を行う。	最新の土木積算システムのデータ更新等を的確に行うことで、工事担当課が行う土木工事に係る積算業務の適正・円滑化が確保できました。	妥当性	A	適正かつ効率的な設計積算により、良好な工事が行われるため、継続して実施する必要があります。	現行どおり	最新の土木積算システムのデータ更新等を的確に行います。また、最新の設計積算関連通知文書等に情報を入力後、直ちに関係各課へ周知します。
						有効性	A	土木積算システムのデータ更新等を的確に行うことにより、工事担当課が行う土木工事に係る積算業務の適正・円滑化が確保できます。		
						効率性	A	土木積算システムの使用及びデータ更新に係る費用は、千葉市を除く県内全市町村及び他県自治体等で負担しています。		
32	指定管理者制度運用事業	契約課	施設を効率的に運用することで、利用者に対するサービスの向上や経費の節減等を行っている。	指定管理者による施設管理状況の評価・指定管理者の候補者の選定について、外部委員による指定管理者選定評価委員会での審査・審議を行う。	指定管理者による施設管理状況の評価、新たな指定管理者の候補者の選定について、外部委員による指定管理者選定評価委員会での審査・審議を行いました。	妥当性	A	定員適正化計画により職員数が抑制される中、権限移譲等による事務事業の増加や新たな市民サービスへ対応するため、財源の創出や人員の適正配置等を行う手段として指定管理者制度を運用しています。	現行どおり	指定管理者による施設管理状況の評価について、外部委員による指定管理者選定評価委員会での審査・審議を行います。
						有効性	A	指定管理者制度を運用したことにより、事業が効率的・効果的に実施されています。		
						効率性	A	指定管理者制度については、運用指針及び各種マニュアル等を整備し、事務効率の向上を目指しているところであり、外部委員による指定管理者選定評価委員会も適正に運営されています。		
33	電子自治体推進事業	デジタル推進課(情報推進課)	市の情報施策の根幹となる計画や、それに付随する規程等を整備することにより、市民の利便性向上と共に、情報化を活用した業務の効率化に寄与している。	総合行政ネットワーク(LGWAN)の維持管理、情報化の適正な導入管理、情報化推進計画等の策定及び人材育成を行う。	計画的な情報施策の企画立案や市情報システム調達指針に基づく導入管理を行うとともに、ITを効果的に活用できる人材を育成することにより、行政事務が効率化し、市民サービス等が向上しました。また、自治体情報セキュリティ対策の維持継続ができました。	妥当性	A	国・県とのIT連携に必要なLGWAN、および情報セキュリティ対策の維持管理に係る事業であり、今後も継続していく必要があります。	現行どおり	本市から接続するインターネットは、自治体情報セキュリティ対策に基づき、千葉県セキュリティクラウドを通じた接続を継続します。さらに、ITを活用した庁内全体の計画的・効率的な事務推進をするとともに、活用できる職員の育成を行います。
						有効性	A	LGWANを利用した国・県等とのIT連携、職員のITスキルの向上等により、ITを活用した全庁的な事務の効率化が必要です。		
						効率性	A	地方公共団体情報システム機構(J-LIS)による研修やeラーニング等を活用し、効率的・効果的に職員の人材育成を行っています。なお、インターネット分離により接続人数に限りがあることから、研修参加人数を見直し、実施しています。		

# 令和6年度事務事業評価シート（令和5年度実施事業）

経営企画部

番号	事務事業名	担当部署	目的	事業概要	令和5年度			令和6年度		
					事業成果	事業の評価	具体的な内容	事業の方向性	事業の展開方針	
34	IT活用推進事業	デジタル推進課 (情報推進課)	サーバ機器等の資産を保有せず、民間のASPサービス等を活用することにより、最新のシステムを長期的に利用することが可能になるほか、資産等の維持管理の負担軽減及び効率的な事務運営がされている。	ASPサービス等を活用する。	ITを活用したシステムを導入することにより、事務が効率化しました。また、ASPサービスやクラウド化を進めることにより、機器及びシステムを管理する負担が軽減しました。	妥当性	A	IT活用による利便性の向上、業務改善及び事務を効率化するため、必要な事業です。	現行どおり	事務を効率化するために、システムの導入の検討を行い、推進していきます。また、長期的な運用を想定した場合、コスト面や運用面を考慮して、ASPサービスやクラウド利用を推進していきます。
						有効性	A	イントラネット基盤をはじめ多くの庁内情報系サービスを活用することにより、事務を効率化することが重要です。		
						効率性	A	現段階では、サーバを保有してシステムを利用するより、ASPサービスの利用やクラウド化を行う方が、コスト面・運用負担面・継続性などからメリットがあるため、導入を推進しています。		
35	イントラネット運営事業	デジタル推進課 (情報推進課)	イントラネットに係る維持管理を適正に行うことにより、情報セキュリティに配慮された安全な事務環境を維持し、安定かつ継続的な運用が行われる。	イントラネット運用システムの維持管理及びサーバ・ネットワーク機器の保守・管理を行い、必要に応じて、機器を整備する。	庁内ネットワーク(イントラネット)を構築することによって、グループウェアや全庁的なシステムを運用することができ、市の事務を効率的に行うことができました。	妥当性	A	庁内における職員事務の連携による効率化、また、LGWANをはじめとする各種外部ITサービスを効果的に利活用するために、イントラネットによる庁内ネットワークを構築し、運用しており、必要な事業です。	現行どおり	グループウェア、出退勤・人事評価、財務事務など、全庁的なシステムは、イントラネットにより運用されており、これらは、業務の効率化のために必要不可欠であることから、安定的に稼働できるようにします。
						有効性	A	庁内ネットワークを利用した、システムの導入は、事務の効率化にとって重要な役割を担っています。		
						効率性	A	イントラネット運用システムの多くをクラウド化し、また、端末もシンクライアント化することによって、セキュリティの向上や効率的な運用・管理を行っています。		
36	住民情報業務運営事業	デジタル推進課 (情報推進課)	行政情報システムの安定的な稼働及び情報セキュリティ対策による情報漏えいが防止されるとともに、住民情報を利用した電算処理により職員の業務が効率化している。	行政情報システムの維持管理及び業務システム等の稼働支援に係る業務を行うほか、セキュリティに関する各種対策を実施する。	行政情報システムの維持管理及び業務システム等の稼働支援に係る業務を行うほか、セキュリティに関する各種対策を実施しました。	妥当性	A	市民サービスの正確性、効率化をするために行政情報システムを導入し、運用をしています。これらのシステムは、住基ネットやマイナンバー制度に対応するためには、必要不可欠です。	現行どおり	行政情報システムは、住民サービスに直結することから、安定稼働できるようにします。
						有効性	A	住民情報を利用する部署においては、行政情報システムを利用することにより、住民記録と連動して、業務を効率的に進めることができます。		
						効率性	A	行政情報システムをクラウド運用することにより、業務を効率的に実施しています。		

# 令和6年度事務事業評価シート（令和5年度実施事業）

経営企画部

番号	事務事業名	担当部署	目的	事業概要	令和5年度			令和6年度		
					事業成果	事業の評価		事業の方向性	事業の展開方針	
						具体的内容				
37	庁舎ネットワーク整備事業（新規事業）	デジタル推進課（情報推進課）	新庁舎へ移転後、市民サービスをはじめ各業務で利用するネットワーク及びシステムを継続して利用できる。	新庁舎への移転に伴う庁内ネットワークの整備及び移行を行う。	新庁舎及び改修庁舎における適切なネットワーク構成を設計し、スケジュールに即した契約事務を実施しました。	妥当性	A	新庁舎及び改修庁舎において庁内業務を継続するため、ネットワークの構築・移設・運用調整など必要不可欠な事業です。	現行どおり	令和6年10月に予定している新庁舎への移転、及び令和8年1月に予定している改修庁舎への移転に伴い、必要となるネットワーク及びシステムの円滑な移行を行います。
						有効性	A	イントラネットや議会フロアのWi-Fi化、また障害に強いネットワーク構成など、今後の構築に新たな仕組みを採用することで、現行以上の運用性を確保します。		
						効率性	A	事業者によらない調達・構築については一般競争入札、業務運用に依存するネットワーク構築については随意契約にするなど、効率的に事務執行をしています。		
38	各種統計調査事業	デジタル推進課（情報推進課）	統計調査が滞りなく実施され、各種施策に利用される。	国及び県で実施している統計調査を受託し実施する。	各種統計調査を実施したことにより、国や地方公共団体の各種施策の基礎資料とすることができました。	妥当性	A	法令により実施されている事業であるため、継続は必要です。	現行どおり	国や県から委託された各種統計調査を実施します。
						有効性	A	各種施策の基礎資料となっています。		
						効率性	A	国で定められた法令により実施しています。		
39	統計事務事業	デジタル推進課（情報推進課）	統計調査が滞りなく実施され、各種施策に利用される。	四街道市統計書の作成、関係団体等との連絡調整等を行う。	四街道市統計書の作成により、諸施策の計画や立案、市勢の基礎資料として利用されました。	妥当性	A	統計資料は各種施策を実施するに当たり、その基礎調査資料として用いられることから継続は必要です。	現行どおり	わかりやすい統計データを公開することで、市勢への理解を深めてもらうとともに各種施策に活用してもらいます。
						有効性	A	継続することで市勢への理解が促進しています。		
						効率性	A	広範囲の資料を限られた人員で必要最小限の経費で作成しています。		

# 令和6年度事務事業評価シート（令和5年度実施事業）

経営企画部

番号	事務事業名	担当部署	目的	事業概要	令和5年度			令和6年度		
					事業成果	事業の評価	具体的な内容	事業の方向性	事業の展開方針	
40	社会保障・税番号制度事業	デジタル推進課 (情報推進課)	「社会保障・税番号制度(マイナンバー制度)」の導入により、公平・公正な社会の実現、行政の効率化、国民の利便性の向上を実現する。	マイナンバーが含まれる特定個人情報を適正に取り扱うため特定個人情報保護評価書及び特定個人情報取扱管理表の提出を各担当課に求め、個人情報保護委員会に提出する。	マイナポイント予約・申込の支援を行い、市民サービスを向上させました。	妥当性	A	社会保障・税番号制度(マイナンバー制度)は、法定受託事務であり、公平・公正な社会の実現、行政の効率化、国民の利便性の向上のため必要な施策です。	現行どおり	社会保障・税番号制度事業における情報連携を適切に実施します。
						有効性	A	行政運営の効率化及び市民サービスを向上するため、情報連携が適切に実施できるよう周知を行っています。		
						効率性	A	国の提供する中間サービシステムを利用することにより効率化されています。国や県からの情報を適時に庁内に周知することで、効率的に制度が運用されています。		